

平成27年度 岐阜県農業担い手研究大会

県が策定された「ぎふ農業・農村基本計画」の実現に向かって、農業者の取るべき方策を見いだすため、農業委員並びに認定農業者等担い手、農業関係者が一堂に会し研究大会を開催する。

開催日時

平成28年2月5日(金)
13:00~16:30

参集者:各市町村農業委員、
認定農業者・集落営農組織組合員、
国、県、市町村、農業委員会、関係団体、
参加を希望する農業者等
約1,200人

開催場所

岐阜グランドホテル
「ロイヤルシアター」

岐阜市長良648
TEL.058-233-1111



大会内容

講演① 13:30~14:30
「橋場農園の歩み(仮題)」

高山市丹生川町
(有)橋場農園 監査役 橋場 茂子 氏

橋場さんは、ご主人・娘夫婦と共に夏秋トマト(3.5ha)及び、菌床椎茸(127,000ブロック)の栽培、並びにトマトジュース・トマトピューレなどの加工製造(20t)、菌床ブロック製造(150,000菌床)の複合経営に取り組む、(有)橋場農園の経営に携わっている。魅力的でやりがいのある農業経営の実現に向けて取り組み、社員が「この会社で働いてよかった」と誇れる会社としていくため、職場環境の改善を図るとともに、特に若い社員が安心して働ける場とすることによって雇用の定着を目指して日々取り組んでいる。また女性農業委員としても活動しており、現在2期目。



講演② 14:45~16:15
「ぼくたちは農業で幸せに生きる
-サラダボウルの挑戦-(仮題)」

山梨県中央市西花輪
(株)サラダボウル 代表取締役 田中 進 氏

田中さんは、都市銀行、外資系保険会社のキャリアの中で、製造業の経営者が自らの「想い」をカタチにすることを間のあたりにし、自らも農業ビジネスにチャレンジすることを決意。2004年に地元の山梨県中央市でトマトなど栽培する農業生産法人を設立。現在では年間約30品目に増加し、拡大を続ける。当初より人材育成に情熱を注ぎ、「NPO法人農業の学校」を設立し、新規就農支援も行う。

現在、次世代の農業の在り方をあらゆる方面に提案し、自らも実行する。



- 申込方法 別紙に必要事項を記載し、各市町村農業委員会へお申込み下さい。
- 主 催 岐阜県農業会議 〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階
TEL:058-268-2527 FAX:058-273-6177

